

仕事への姿勢 児童が取材

本社「しんぶん寺子屋」

福井・エルパ 17人、熱心にメモ



福井新聞社の小中学生向けNIE(子ども塾)「しんぶん寺子屋」は7日、夏休みシリーズ第2弾の講座を行い、児童

17人が福井市のエルパで取材活動を体験した。商品や店舗の魅力、仕事に取り組む姿勢を引き出そうと、緊張しながらも現場で考え抜いた質問を投げかけた。

初回に記事の書き方や取材のポイントを学んだ子ども記者たちは、2〜4人のグループに分かれ、飲食店や雑貨店など5カ所を取材した。生花店では、緊張した面持

人気商品や仕事のやりがい積極的に取材する児童たち=7日、福井市のMissフラワーエルパ店



ちで人気商品や仕事で気をつけていることをインタビュー。女性スタッフは取材に「笑顔を大切に、お客さまとたく

さん話をするよう心掛けています」と応じた。「大変なことは」との質問には「お花を枯らさないよう一つ一つ丁寧

に手入れすること」と話し、児童たちは熱心にメモしていた。取材後、竹沢拓真さん(木田小6年)は「水やりや光を当てるなど、お花をきれいな状態に保つ苦労が分かった」と感想を話した。

また、雑貨店を取材した鈴木愛梨さん(武生南小6年)は「ディスプレイの工夫など思い付いたことをすぐに聞いた。7回も質問できて楽しかった」と笑顔を見せた。

取材後はメモをもとに、記事を書く基本の「5W1H」を頭に入れながら、原稿の執筆に取りかかった。最終日の23日は、グループで見出しやレイアウトを考え、紙面作りを行う。

(山口晶永)